

るもい体験観光推進協議会  
(農泊及び教育旅行)

留萌振興局

## 【協議会の特徴・理念】

地域活性化と交流人口の増加等を図るため、農業・漁業・自然などの地域資源を活用した農山漁村体験を提供し、留萌ならではの体験を核とした観光地づくりを目指している。

## 【地域の概要】

### ① 自然環境

留萌市は北海道の北西部に位置し、西には日本海、南北には暑寒別天売焼尻国定公園が連なり、豊かな自然に囲まれている。黄金岬から日本海に沈む夕陽は絶景で、「日本の夕陽百選」に選ばれている。



### ② 人口

留萌市：22,221人(2015年国勢調査)



### ③ 主な産業

#### ● 農業

稲作が主に生産され、南るもい米は、「全国米・食味分析コンクール」で3年連続金賞。又、硬質小麦ルルロツソは南留萌のみで栽培されている特色ある小麦である。



#### ● 漁業

近海でとれるウニ、ホタテ、タコ、ヒラメ、ウニなどの海産物のほか、品質の高い塩かずの子の生産量は日本一である。



### ④ イベント等

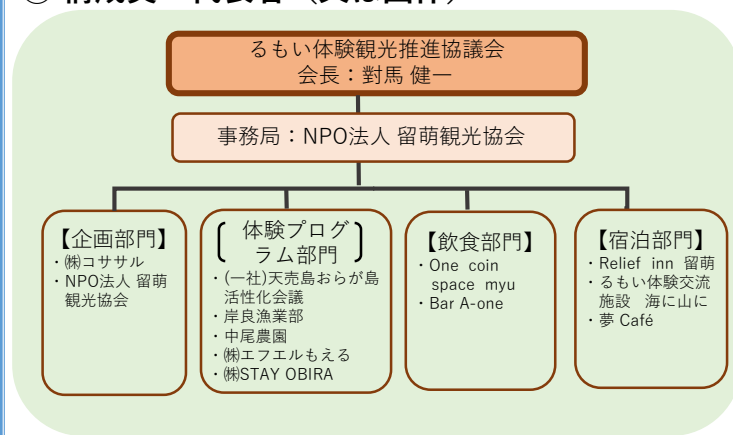
るもい呑涛まつり、  
うまいよ!るもい市等



## 【協議会の概要】

① 設立年 2020年1月

② 構成員・代表者（又は団体）



③ 協議会設立の経緯（きっかけ）

地域資源を活用した体験を核とした観光の推進を図り、地域活性化と交流人口の増加等を図る。

④ 協議会の活動内容

- ・ 総会
- ・ 農山漁村体験観光等の企画・実施等

⑤ 現在の課題

新型コロナウイルスの影響により体験者数が減少しているため、新北海道スタイルを実施しながら受入れを継続し体験者数を増加するための取組が必要である。

## 【主なコンテンツの種類及び実績】

① 宿泊者数（人）

年度	民泊	延べ宿泊数
H29	50	195
H30	42	176
R1	130	302
R2（上半期実績）	0	0
R2（下半期予定）	20	50

※ R1.12月迄は、NPO法人 留萌観光協会にて実施

※ R2.1月以降は、るもい体験観光推進協議会を設立し実施

② 体験メニュー（人）

年度	農業体験	漁業体験	その他	延べ体験者数
H29	50	154	95	299
H30	28	212	79	319
R1	157	81	140	378
R2（上半期実績）	32	30	0	62
R2（下半期予定）	30	60	60	150

※ R1.12月迄は、NPO法人 留萌観光協会にて実施

※ R2.1月以降は、るもい体験観光推進協議会を設立し実施

③ 利用状況

【利用者の形態】

- ・ 国内 100%

【利用者の声】

- ・ 景色が素晴らしく、感動した。
- ・ 安全に楽しく体験ができ、子供は大喜びでした。
- ・ 食べ物が、新鮮で美味しかった。
- ・ 次回は違う体験メニューで参加したい。
- ・ 普段できない体験のため、記念写真をたくさん撮影した。
- ・ 夏休みには、家族と一緒に来て体験を楽しみたい。

## 【特徴的な取組】

### 留萌市ならではの地域資源を活用した多様な体験プログラム

#### <海浜公園でのウニ獲り体験>

- ・黄金岬海浜公園にて、地元漁業者などの指導のもと海に入りウニ獲りを体験



#### <漁港での釣り体験>

- ・留萌港において、ニシンやチカ、サバなど初心者向けの魚釣り体験



#### <ドラム缶風呂体験>

- ・火おこしから始まり、ワイルドに夜空を見るドラム缶風呂体験



#### <留萌ダムでのイカダづくり体験>

- ・色々な材料を使ってオリジナルのイカダを作り、留萌ダムの湖上を冒険する体験



#### <収穫体験>

- ・「道の駅るもい」の一角にある畑に苗や種を植え、収穫する体験



#### <留萌産材を活用した木工体験>

- ・留萌産の木材を使用し、棚やリース、カトラリーを作る体験



#### 【連絡先】

代表窓口：るもい体験観光推進協議会

(事務局：NPO法人 留萌観光協会 担当：佐藤 雄一郎 TEL：0164-43-6817 E-mail: yuuichirou-s@rumoi-rasisa.jp)